

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和元年 5月 31日 報告

担当課

治水課

補助金等の名称	佐倉市がけ地崩壊防止事業費補助金
---------	------------------

予算科目	一般会計	款	7	項	2	目	5
予算事業名	急傾斜地崩壊対策事業						
実施計画の位置づけ	災害に備えた体制を整備します。						

補助金分類							
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接	(国県補助なし)					千円
交付先	個人						
支出根拠規定	佐倉市がけ地崩壊防止事業費補助金交付要綱						

補助の目的	個人が実施するがけ地崩壊防止工事に対し、経費の一部を補助することで災害の防止対策を推進していく。
補助の効果	土砂災害を防止し、安全で住みよい住環境を確保する。
補助対象事業の具体的内容	市が定める区域において危険家屋が2戸以上存する一連のがけ地に係る崩壊防止工事を行うものに対し、ある一定の基準を満たした場合に、経費の一部を市が助成する制度。
対象経費及び補助率	がけ地の崩壊による災害を防止するため、がけ地崩壊防止工事に要した経費で市長が適当と認める経費の1/2とし、一事業につき200万円を限度とする。
補助金額の根拠	防止工事に係る調査設計費用の1/2以内を想定。
備考	1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由 その他
補助期間	平成27年 4月 1日～令和 2年 3月 31日

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課	治水課	
補助金等の名称		佐倉市がけ地崩壊防止事業費補助金		
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	2,000	【想定値】 1件	0	実績なし
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	多額の費用負担を地権者が負担するため、申請まで話が進まない。 昨年度と同様、必要が生じた際に行政が助成を行っていく。			
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	2,000	【想定値】 1件	0	実績なし
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	多額の費用負担を地権者が負担するため、申請まで話が進まない。 昨年度と同様、必要が生じた際に行政が助成を行っていく。			
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	2,000	【想定値】 1件	0	実績なし
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	多額の費用負担を地権者が負担するため、申請まで話が進まない。 昨年度と同様、必要が生じた際に行政が助成を行っていく。			
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	2,000	【想定値】 1件	0	実績なし
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	多額の費用負担を地権者が負担するため、申請まで話が進まない。 昨年度と同様、必要が生じた際に行政が助成を行っていく。			
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	2,000	【想定値】 1件	0	実績なし
	成果達成状況の分析と今後の方策			
計画期間終了後の最終的な目標値	がけ地崩壊防止工事5件			
計画期間終了後の最終的な成果値				